

* 屋上緑化プロジェクト *

私が提案するのは、ビルの屋上に土を敷き詰め、植物を植えるというものである。これにより太陽光により屋上が直接温められるのを防ぐことができ、ビル内の室温を下げるので、エアコンの使用コスト並びにCO₂排出量の削減を可能にする。また大規模に行われるようになれば、都市部でもかなりの緑を手に入れることができ、都市全体のCO₂削減において重要な役割を果たし、地球温暖化対策に貢献することができる。

また、温暖化とは別の切り口で見てみよう。毎日の水まきについて、会社の従業員の当番性で行うことで、普段は味わえない植物を育てる喜びを知ることができ、社員同士の交流の機会にもなる。同様のことを、会社だけでなく病院で実施することを考える。入院患者は毎日当番性で水やりを行い、植物の世話をする。人との触れ合い、植物を育てる喜びにより生きがいを見出すことができるかもしれない。ずっと病室で過ごしている患者にとって、とても重要なイベントになるだろう。育てた植物については、老人ホームや学校、周辺住民の人々などに配布することで、地域社会との交流につながる。また野菜であれば社員食堂で利用できる。こうなるとより一層植物を育てる喜びを感じることができるだろう。

温暖化対策にしても人との交流・生きがいという見方からしても、将来的に都市部におけるこの試みは必要不可欠になるのではないかと感じている。緑と共生できる都市、そこで暮らす人々が生き活きと輝いている都市、これこそが次世代の都市のあるべき姿であると考えます。